



ロータリー:
変化をもたらす

国際ロータリー第2500地区第3分区
Asahikawa Morning Rotary Club
旭川モーニングロータリークラブ会報



ホームページ <http://www.asahikawamrc.com/>

2月の月間テーマ 平和と紛争予防・紛争解決月間
本日の例会プログラム 委員会スピーチ(国際奉仕)

第1159例会 No. 26

平成30年2月1日(木) AM7:30~

場所 アートホテル旭川 15F MINORI



会長挨拶
安井 裕子 会長

CLP

皆さん、改めましておはようございます。本日は、(CLP導入とクラブの活性化について)をお話したいと思います。

先週RI・ロータリー情報、CLP推進委員長からの、「CLPについてのアンケート回答のお願い」が各クラブ会長、幹事の元に依頼が来ました。このアンケート調査は貴クラブの現在のCLPについてお答え頂きその結果を次年度に役立てたいと考え、行われるものです。と書いてありました。

CLP(クラブ・リーダーシップ・プラン)をホームページで検索しますと、30ページの解説文が出てきます。その全てを理解することはなかなか困難ですが、どのような意味があるのかを知っておく事が必要と思います。

過去に2710地区パストガバナーはCLPとはいったい何なのか?

手続き要覧を読んでも具体的な対応手段に結びつける事は難しいです。

CLPはクラブを良くするための計画と言われています。クラブの置かれた地域の状況により、様々です。ですが、CLPは手段であり、目的はクラブの活性化のためでなければ意味がありません。またCLPは直接会員増強に結びつくものでもありません。「会員増強はクラブ活性化の成果によるもの」です。クラブの活力が上昇して意識が強くなり全員の積極的な働きかけが出来て会員増強に結びつくのです。最大目的はクラブの活性化です。マニュアル通りの方法を取っても良いし、クラブの状況に合わせて別の方法を取っても良いのです。クラブで大いに議論しながら実状に合わせて計画の策定と実践を期待するものです。

クラブも地域も変化している。地域の人口が大都市を除き大幅減少、子供が激減し、高齢者の比率が増大し、スーパーマーケット、コンビニの出現により地場商店衰退。パソコン、携帯電話の普及、大量消費から消費抑制時代へ・・・そしてロータリークラブも変化してきています。職業

奉仕を特徴とするクラブから団体で奉仕するクラブへ・・・

永年続けてきた一業種一名の会員原則が変更、会員数の減少、いかなる組織も時間の経過と共に硬直化していきます。それは国家、政党、企業、学校、団体を問わず例外なく全ての組織に起ります。所属するクラブだけが違うという事はありません。

CLPの工程をご覧頂きたいのですが、できるだけ簡単にしてみます。

自クラブにおいての取り組みは前年会長が会員満足度アンケートを実施し、戦略会議も開催されており認識されています。

自クラブはCLP認識は出来ているクラブではないでしょうか。今年度、更に進行させてゆきたく思います。



会務報告
井上 雄樹

1. 国際ロータリー日本事務局経理室より、ロータリーレート変更通知收受。2月1日より1ドル=110円(1月1ドル=114円)。



出席報告 大久保 昌宣 例会運営委員長

本日の出席	第1159回例会 総員27名 2月1日 出席23名 出席率 85.19%
修正出席	第1157回例会 総員27名 1月18日 出席24名 出席率 88.89%
ビジター	ございません。
ゲスト	ございません。
メイクアップ	1月25日 笹川 和廣(旭川東北RC) 1月30日 宮永 憲一・井上 雄樹(旭川西RC)



国際奉仕委員会
竹澤 元男 委員長

今年度の国際奉仕委員会と致しましては、この先のことでありますが6月に落ち穂募金と使い古しの切手・テレホンカードや書き損じのハガキ等がありましたら、キリスト教会と日本飢餓対策機構に送りますので、ご協力をお願い致します。尚本年度の会長さんと幹事様には第3分区の会合の時には毎年でありますがお協力をお願いして頂ければ幸いです。どのクラブでも用意が出来ていましたら国際奉仕として取りに伺いを致しますので、よろしくお願いを致します。

水の浄化装置設置現地訪問報告

今年度の最大の仕事であります第3330地区タイ国ナコンシータマラート地域で小中学校5校に水の浄化装置の取り付けが完成し地域の学校に寄贈する譲渡式にクラブのメンバー4名で行って来ました。(以下、河崎高麗男委員の報告書より抜萃)

私たちは11月10日早朝旭川駅5:15のJRで新千歳空港に向かい一路タイに出発、バンコクスワンナプーン空港に19:30頃到着、タサラー・ナコンスリーRCのメンバーが我々4名の顔写真入りの歓迎の幕で迎えてくれました。

タサラーRCメンバーと夕食を共にして同夜はクラブのホテルに泊まり、翌日、タサラーRCのメンバーがバンで約200km離れた現地へと案内。所々で名所の寺院や、露天温泉、山の中のエメラルドプール等見学、夕方17:00頃現地ナコンシータマラートのタサラー T.W.Seaview Hotelに到着、タサラーRCメンバーと共に夕食をして2日目終了。

3日目(12日) 愈々プロジェクト実施訪問です。

まず午前中はアンフォエシジョンのバンファイコミュニティでの譲渡式には、小学生を始め地域の人々が日の丸の旗で迎えて頂きました。

午後はアムブーカノムのチャムチョンバンバングノットSchoolで楽器演奏で大歓迎を頂きました。

今回のナコンシータマラート地域の飲料水は上下水道完備が遅れ、洪水で汚染、塩分の多い水、40℃からの熱射による腐敗雑菌に侵された水を飲料としており、抵抗力の無い多くの乳幼児の命が奪われていることが解りました。

私たちは水と衛生グローバル補助金を活用して、地域社会における安全な水の公平な提供、衛生設備や衛生状況の改善、持続可能な水設備と衛生設備の設置、資金調達、維持管理を地域社会が自ら行っていくための能力向上、安全な水と衛生の重要性について、D3330ナコンシータマラートプロジェクト(予算30,575\$)で学校や地域社会のための清潔な飲料水の公平な提供を目指してきました。

コミュニティの人々の認識を高めるためのプログラム支援、教師や地域社会の人々と会い、水質の悪さを理解してもらい、食品医薬品局(FDA)の基準を満たす5つの大型水フィルターを提供するとともに、プロジェクトを成功させるために必要なことをコミュニティの

人々に知らせることを計画してきました。

コミュニティの人々はこのプロジェクトのための原水を提供し、各対象の場所を設定、さらに、地域の人々を含む地元委員会を設置、パートナーのロータリー・クラブのコンサルタントが、機器の操作と保守を担当、教師、学生、学校教育委員会からなるプロジェクト委員会を立ち上げ、プロジェクトと年間の世話をしていきます。

清潔な水を飲むことの重要性について地域社会の人々や学生に教育することを目的としたワークショップが開催されています。

また水フィルターの操作と保守を担当する者に、装置を適切かつ永続的に使用するよう訓練をしています。

コミュニティの人々は清潔な水を飲むことの重要性を認識していないため、この問題についての教育、水フィルターの操作とメンテナンスは水の品質につながることで重要であり、それを担当する人々がそれを維持する方法を理解していることを確認する必要があります。

毎年、スムーズに機械を稼働させるために、給水のために継続的な維持管理をするための水を地域社会受益者に販売します。ナコンシータマラート地域の5ヶ所の施設で、地域社会のコミュニティの人々約15,000人に綺麗な美味しい水が提供できるようになりました。

4日目(13日) アンフォエ タサラーのバンパークジャオSchool・アムブータサラーのワツァンクーンSchool・午後からアムブーマイングのバナキアンSchoolを訪問して、それぞれの学校を中心に子どもたちを始めコミュニティの人々に歌や踊り・太鼓などで出迎えを頂き大変な歓迎と感謝の言葉を戴きながら、各施設の訪問を終了いたしました。

5日目(14日)は、ロータリー米山記念奨学会・1993～5年金沢星稜大学で学び金沢RCで米山奨学生として過ごし「故郷に戻り・役立つ人間になりたい」と誓い卒業後にオーストラリアで情報技術を学び2000年タイに帰国、日本企業へのコンサル業務を行う会社設立、現在、タイ日人材育成協会会長テムラック・チャオさんの経営する柳川高校附属中学校(創立2015年)を訪問してきました。

この柳川高校附属中学校は全国から50名限定の全寮制で、日本語必須科目だそうです。ロータリー米山記念奨学会の素晴らしいロータリーの教育理念に感動し日本の良さをタイの若者たちへ広めていきたいと熱く語っていました。この10年で350名ほど日本に留学生を送り出しているそうです。

夜はWellcomming PartyをThasala hospital hallでナコンシータマラート地域のクラブ約50名程が集まり盛大なWellcomming Partyを開催して戴き、タサラー・ナコンスリーRCを始めシジョンRC・ポーサテッドナコンシーRCその他のRCの皆さんと子供さん達の踊りで迎えられ楽しく親睦に努めてきました。

ロータリー財団の補助金を通じて、当クラブは「世界で良い事しよう」標語の下に人道的プログラム・水と衛生・人々の健康状態の改善と取り組んでタサラー・ナコンスリーRCとの共同で五つの小中学校を中心に水の浄化装置を設置し、学校生徒周辺の地域住民にも恩恵を与えられる事業に大変な感動と感謝を頂きました。現地訪問してまだまだ日本では理解できない環境があり、ロータリー財団の活動が如何に素晴らしいものかを現地視察を得て理解できた事に感謝と共にこれから財団支援GGプロジェクトに力を尽くして行きたいと思えます。



◆ニコニコボックス◆

坂本 信一 親睦委員長

1. 福居 恵美子 先週、無断欠席しました。すみません。
2. 竹村 陽子 なぜかネームが私の胸から離れずニコニコです

ニコニコボックス 2月1日 2件5,000円
 年度累計金額 217,000円



安井、井上

◆誕生祝い記念品贈呈◆

坂本 信一 親睦委員長



飯塚 達夫 会員 2月5日
 おめでとうございます!!



四つのテスト 福居



受付 伊藤、朝倉、嵯城、橋本



三浦綾子記念館20周年記念事業への支援を語る石川会員

「豊岡地区に、三浦綾子がかつて口述筆記をしていた部屋が残されている。テーブルがひとつ置いてあり、その周囲を三浦綾子が歩きながら声にした原稿を、夫の光世氏に筆記してもらっていた。歩いた跡の量がすり減っているような部屋だが、それをそっくり移設する分館を建設し、三浦綾子記念館に繋げる事業が計画されている。費用の総額は本館のリニューアルを含め5400万円ほどになるが、先日ツルハ薬局の会長に大口のご支援をお願いして、快諾をいただいたところ。ただ、現在までのところほかからのご寄付を合わせても、費用の7～8割程度にとどまる模様で、不足が懸念されている。そこで、我がロータリークラブのみなさんにも、いずれご支援をお願いすることになると思う。その節にはよろしくお願ひしたい。なお、3万円以上の寄付を頂戴したかたは、ご芳名を入りに口に刻むことにしている。」



出席報告 大久保



ニコニコボックス 坂本



中岡



林



理事会直前 石川、林、宮永、河崎、嵯城、井上、安井、竹村、高見、小柳、武田、竹澤



林、安井、飛弾野



福居、橋本



木村、小林



井上、高見(いつもおいしいトマトジュースに感謝してますー一同より)



嵯城、朝倉



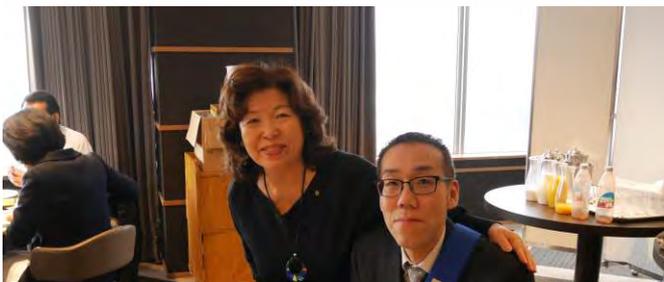
桑原、石川、河崎



大久保、宮永



坂本、武田



竹村、伊藤



小柳、竹澤